



吉沢寺子屋のあゆみ

吉沢寺子屋発足 15 周年記念事業
「吉沢寺子屋 15 周年のつどい」



はじめに

吉沢寺子屋はこどもたちの居場所として平成 22 年に設立され、今年度で 15 年を迎えます。最初から今のような地域の居場所として成り立っていたわけではなく、本事業の始まりから今日までには困難な場面もありましたが、こどもたちの笑顔と大学生や地域の方々のまっすぐな気持ちに支えられて、今日の寺子屋があります。

15 周年の記念事業を執り行う今日、本冊子「吉沢寺子屋のあゆみ」を作成し、設立から今日までを振り返ってみます。



左：平成 23 年 6 月

まだ始まって間もない寺子屋でしたがこどもたちと大学生の親睦は日に日に深まり、この日も寺子屋には笑顔が溢れていました。

あ ゆ み



1. 設立経過

- ・平成 22 年 4 月 25 日 モデル事業委員会発足
- ・平成 22 年 10 月 16 日 公民館事業「吉沢再発見・吉沢の福祉」ワークショップ開催
- ・モデル事業準備委員会が引き継いだ 129 項目の課題は具体化をめざし「ゆるぎ地区活性化協議会」に引き継ぎ、そのうち福祉に関連する組織として居場所づくり隊(寺子屋ゆめ広場)とみまもり隊の発足決定。 ※ゆるぎ地区活性化協議会は中央日本土地建物(株)、平塚市、東京農業大学、吉沢自治会連合会で構成される。
- ・平成 23 年 1 月 24 日 居場所づくり隊制定、ゆめ広場開始 第 2、第 4 金曜日開催
- ・平成 23 年 2 月 24 日 寺子屋実施要領制定(モデル事業委員会による)
- ・平成 23 年 4 月 11 日 居場所づくり隊・寺子屋開始 第 2、第 4 土曜日開催
- ・平成 25 年 3 月 吉沢地区町内福祉村設立
- ・平成 25 年 4 月 吉沢福祉村ふれあい交流部会に寺子屋の運営移管
- ・令和 2 年 2 月 新型コロナウイルス感染拡大による活動自粛 実質的休止
- ・令和 3 年 10 月 31 日 福祉村と BBS 会、有志による協議を経て単発のハロウィンイベントを実施
- ・令和 4 年 5 月 寺子屋活動(月 1 回)再開
- ・令和 5 年 3 月 神奈川大学湘南ひらつかキャンパス移転





2. 活動の土台づくり

当時の公民館主事と地域の有志ボランティアの方々を中心とした吉沢寺子屋運営スタッフと湘南 NPO サポートセンター、平塚地区 BBS 会により、児童の毎月第 2 月曜の放課後のひと時と第 4 土曜の休日を使って、多世代交流の居場所として寺子屋活動がスタートしました。大学生たちがこどもと近い目線で勉強と遊びを一緒になって取り組み、学びと遊びを通じてこどもたちが楽しみながら社会性を身に付けられる場になっていきました。



上：平成 23 年 8 月 ペットボトルロケットであそぼう

左：平成 23 年 4 月 タウンニュースに掲載されました

3. つながる活動

・コロナ禍の単発イベント

新型コロナウイルス感染拡大の影響で中断されていましたが“このままでは終われない”と検討を重ね、単発のハロウィンイベントを開催することに成功しました。



左：令和 3 年 10 月 31 日ハロウィンパーティの様子。

当日は地域の皆さま、こどもたち、卒業生、BBS 会の OB もかけつけました。企画から準備も含めて平塚地区 BBS 会の大学生が一所懸命に取り組み、コロナ禍に元気と笑顔を届けてくれました。ありがとう。

久しぶりの寺子屋に地域の方々も顔を出してくださり、こどもたちからはより一層、再開を望む声があがりました。

・活動の再開

吉沢公民館の建て替えや神奈川大学湘南ひらつかキャンパスの移転という課題がある中で、福祉村と平塚地区 BBS 会で検討を重ね、月 1 回の寺子屋の開催を決定しました。寺子屋の開催にあたっては毎月会議を開き、より連携を強化した運営体制が構築されました。また神奈川県 BBS 連盟や、再開後には平塚地区更生保護女性会も新たに仲間に加わりました。



4. 現在の寺子屋

地域の小学生を対象に毎月第4土曜日に吉沢公民館で寺子屋活動を実施しています。学校の宿題や学年ごとに用意されたプリントで勉強し、大学生が中心となってサポートしています。勉強の後はホールを使ってこどもも大人も一緒になって遊びを楽しんでいます。また、季節の行事にちなんだ工作やゲーム等のイベントも開催しています。

ある日のスケジュール

10:00～10:45 勉強
11:50～11:40 あそび
11:45～12:00 おやつ



吉沢福祉村、BBS 会、更生保護女性会、湘南 NPO サポートセンター、地域の皆さまのご協力のもと、一体となって運営し、今までのような季節ごとの行事はそのままに、加えて初の試みだった自然観察会の実施や、絵手紙教室や農業の話など、バリエーションに富んだ活動を展開しています。現在の寺子屋はこどもたち＝てらこっ子に囲まれ、それを見守る大学生、またそれを包み込む地域の方々と、あたたかな居場所となっています。



左：令和5年5月 自然観察会

ゆるぎの丘を散策する中で鳥の声や木の実など新しい発見をして、四つ葉のクローバーもたくさんみつけました。

下：寺子屋卒業証書は毎年3月の卒業・進級のお祝い会で卒業生へ贈っています。青空と風と雲がどこまでも連れて行ってくれそうです。



表彰状

殿

あなたは吉沢寺子屋に参加し、学習、レクなど率先して行動し下級生の模範になって、楽しい寺子屋を染িয়েくれました。寺子屋卒業にあたり表彰状を贈りこれまでの行動をたたえます。

吉沢福祉村寺子屋スタッフ一同



いつてらーしゃい

とても嬉しいことに寺子屋卒業生もよく顔をみせてくれます。中学生はこどもたちにとって良い先生、良い遊び相手となり、寺子屋をより明るくしてくれています。学生や社会人になった卒業生は卒業証書のデザインや制作、寺子屋つうしんを作成するなどして寺子屋を大切に思い続け、支えてくれています。



左：令和7年2月 第6回平塚市みんなのまち
づくり事例年間大賞受賞。
寺子屋が大切にしてきた「つながり」を感じる活
動として評価していただきました。

発行 令和7年11月8日

※吉沢寺子屋記念事業準備委員会※
福祉村 野川達司 高倉一紀 佐野小津枝
BBS会 佐野宏樹
更生保護女性会 小泉和美 小野洋子



てらこっ子ブログ

吉沢寺子屋の様子は湘南 NPO サポートセンターと協力して左記 QR コードの
メーバブログにて随時発信しています。また、過去の一部の記事や寺子屋が取材
を受けたときの様子は湘南 NPO サポートセンターの HP にも掲載されています。



~free space~